

## 平成 26 年度 インターンシップ経験者が 学んだこと / 感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

2601

### 【社会福祉法人（社会福祉協議会）】

#### ◆学んだこと

- ① 地域社会では、ボランティア活動は活発であり、日本の地域活動はボランティアが欠かせない
- ② 広く知られるビジネス職場でよく使う言葉「報告、連絡、相談」は、特に福祉の仕事で重要である
- ③ 活動だけでなく、住民との繋がりや利用者への理解、思いやりが大切である
- ④ 地域福祉は、関連する組織や機関がそれぞれ各自で行うものでなく、福祉関係組織が独占するものでもない、地域全体が連携し、共に支える事業である
- ⑤ 事業を円滑に進めるため、常にサービス提供側のレベルアップをするだけでなく、地域で事例研究や勉強会の開催などを通して、地域全体とのより良い関係づくり、お互いの理解を深めることを目的とした取り組みも非常に重要である

#### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

- ① インターンシップは、社会に踏み出す第一歩であり、その間での失敗は、自らの欠点に気づかされ、見直すことにつながる。
- ② インターンシップは、就職や人生を改めるきっかけでもある。とにかく全力でやってみたら、必ず何かが見えてくる。
- ③ 世の中に、幸運な人や天才は僅かである。多数の人間にとって、勤勉は成功の近道である。人生には挫折や頑張った分が報われないことが多いが、しかし挫けず常に笑って頑張ることは、必ず人生の勝利に繋がると信じている。

2602

### 【国立大学法人（地域連携）】

#### ◆学んだこと

インターンシップを通じて、知識やスキルが身に付くことのみならず、全ては周りの「人」のおかげで、今の自分があることに気付かせて頂きました。仕事と育児が両立できるのも、家族や職場の皆さんのご理解のおかげ、仕事を兼業（スクール経営）しながらできるのも、職場の皆さんと生徒さんのご理解のおかげです。

「恩送り」しながら、人・人・人のネットワークをこれからも大切にしていきたいと思えます。

### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

私は、ここ奈良女子大学キャリア開発支援室で、「必然的な偶然」に巡り合い、そして実践させて頂けたことに心より感謝しています。これからも、好奇心・持続性・楽観性・柔軟性・冒険心<Planned Happenstance Theory (※) より>で行動に移していこうと思います。

皆さん、一緒に頑張りましょう！

※計画的偶発性理論：スタンフォード大学ジョン・D・クランボルツ教授によって考案されたキャリア理論

2604

### 【一般財団法人（国際観光）】

#### ◆学んだこと

四ヶ月のインターンシップを通して、モンゴル、内モンゴルの文化観光について様々な勉強をした。

インターン先の国連世界観光機関アジア太平洋センターの方々の支援の元で、「モンゴルの遊牧文化と観光に関する国際セミナー」を企画した。また、セミナーにおいて日本語⇄モンゴル語の通訳及び総括を担当した。今回のセミナーは公共人類学の方法とその解釈に基づき企画した。

つまり、自分の専攻である人類学の理論を実践する良い機会になった。セミナーは皆様のご支援とご協力のおかげで一定の成果を上げることが出来たと考える。インターンの貴重な経験を将来の仕事につなげていきたいと思う。

#### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

学校で学ぶことができない、現場活動、社会人の勉強をしながら、将来の就職活動に必要な経験、知識を身に付けることが出来る貴重な場であります。また、自分の能力を試す大きなチャンスと思い、頑張っしてほしいです。

チャレンジする際に、自分の長所と短所を見極めることが大事だと思います。

2605

### 【株式会社（製薬）】

#### ◆学んだこと

植物細胞を扱っていた経験からか、会社の研究開発部門の中でも基礎的な研究を行う部署に配属されました。そこでは、ヒトの様々な培養細胞を用いて、新規素材のスクリーニングを行ったり、動物試験による有効性試験を行っていました。

他研究室とのつながりが少ない大学の研究室とは異なり、基礎研究を行う部署で発見された新規成分は、安全性評価を行う部署で確認され、マーケティング部門の方と販売戦略を練り、知財部との特許交渉、工場での生産を通して1つの製品となります。

その過程で様々な部署が連携して製品が形作られていくことを知ってはいましたが、実際に体感するのは初めてでした。それぞれのプロ集団を目の当たりにし、全部署ではありませんが、関わることができました。

また、基礎研究部門だからといって、実験ばかり行うのではなく、新しいアイデアや商品を上層部にプレゼンする機会もあります。そのために他部署と打ち合わせをすることも多いため、たくさんの人と出会え、自己の情報収集能力やプレゼン能力を高めることができます。

#### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

これまで、大学の研究室しか知らず、企業で働く人たちのことはどこか違う世界のことと思っていました。しかし、インターンシップを通して、企業の人たちが身近となり、考え方に触れることができ、企業で働くことも自分のキャリアのひとつとして考えることができました。

また、アカデミアでは自己の成果のみが評価されますが、会社ではチームで製品をつくりあげることが多く、仲間がいることの安心感を感じることができます。そして、自分が携わったモノについて、家族など身近な人たちから感想をもらうことができることもモチベーションアップにつながります（アカデミアの研究内容は、家族の理解が得にくかったりしましたので。笑）。

最後になりましたが、インターンシップ派遣はキャリア支援本部の手助けなしには到底達成することはできなかったと思います。コーディネーターの方との派遣先相談や面接指導、自己分析などを通して、徐々に自信がついてゆき、自己のキャリアを見つめ直すとても良い機会となりました。

2606

### 【株式会社（就労支援）】

#### ◆学んだこと

就労支援には、比較的短期間で就労に結び付くものから、長期間かかるものまでいくつかの段階のものがあることを学んだ。

短期間で就労に結び付くものから順にあげると・・・

- ① 若者がサポステへ来所して相談できるケース
- ② 若者が自宅の近所へ外出することが出来、訪問支援を受けることが出来るケース
- ③ 若者が自室に引きこもっているケース

各段階に応じて配慮の行き届いた支援が必要であることを学んだ。

- ① 本人の希望・特性に応じた就労先を選定する
- ② 日常生活の話の中から、本人の困り感あるいは就労の希望を聞き取る
- ③ 本人の興味・関心に合わせた話をして信頼関係を築く

### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

キャリアの方向性が未定だったとき、奈良女のHPから「キャリア開発支援」のことを知りました。大学院を出たのに就職先が決まらず、自信をなくしかけていた時期です。

インターンシップの前段階として、自己分析セミナーで、自分の強みを確認できたのは、自分の自信につながりました。感謝しています。キャリアインタビュー、インターンシップ先の選定など、自分一人では到底できないことも、キャリアコーディネーターの皆さんの力を借りて行うことが出来ました。インターンシップ中も、活動報告書のコメントをすぐにいただき、すぐ近くで見守っていただけているようで、安心できたのを覚えています。

ポストクの皆さん、居心地の良いキャリア開発本部で、自分の将来について、キャリアコーディネーターの方とたくさん話をして下さい。皆さんの活躍先が広がることを願っています。

2607

## 【公・学共同事業（博物館）】

### ◆学んだこと

展示会の裏方の仕事を学びました。展示会の企画は展示ギャラリーの準備だけではなく、連絡のやりとりから、展示物管理、そして展示パネルの文章作成、デザイン化に至るまで仕事は多様であることが分かりました。そこで、仕事は一人ではなく、チームで分け合い、相談し合うことがいかに大事であるかを学びました。

展示会の他に、ミュージアムの丁寧な案内方法、そしてゲストのアテンド方法を見学しながら学び、自分も案内できるようになりました。そして、膨大な資料を有するミュージアムでの資料の探し方、アーカイブに収納された資料の探し方なども学ぶことができました。

### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

日本における「職場」の体験だけではなく、研究能力と仕事を融合させた職場で活躍できたのは本当に嬉しいことでした。展示会が少しずつできあがっていくことがいかに嬉しいことであるかが分かりました。その気持ちでお客さまにも展示会を楽しんでいただくように頑張ることができました。

インターンシップが終わっても、これまでの人間関係を継続（連絡のやり取り）し、新しい職場であるドイツ文化センターとの協力で、京都国際マンガミュージアムとの新たなプロジェクトの可能性も考えて行きたいです。

## 【学校法人（教育）】

### ◆学んだこと

- ・YMCA の理念をより深く理解できた

日本に来たばかりの時に YMCA 日本語学校に通っていた。その時、YMCA は他の日本語学校と同じ、日本語を教えるだけの場だと思っていた。しかし、インターンシップ期間中、YMCA という組織の歴史や理念について学び、YMCA は異文化の「共生」を求め、平等・無差別で平和な人間社会の構築を追及している組織である、と再認識できた。

このような偉大な理念を持つ組織で働けることを非常に光栄に感じる。これからも、平等・無差別で平和な社会の構築に関する事業に自分の人生を捧げたいと思っている。

- ・教育方法

YMCA は学生たちの独立精神を育むため、魚を与えるのではなく釣り方を教えるような教育を実施している。その教育方針を知ることによって、良い先生とは何かと改めて認識した。これから、この方針を念頭に置き、身に着けられるように頑張りたいと思っている。

- ・進学指導

進学指導のための授業を見学して、研究テーマの絞り方、研究計画書の書き方、面接の準備など大学院進学を目指している学生たちへの教え方を学んだ。

### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

応募した時には、息子は生後6カ月。当時、仕事をしたい！でも、子どもが心配！という複雑な気持ちだったことを覚えている。今、息子は1歳になり、元気に成長している。私もインターンシップに派遣されて、充実した生活を送っている。これは全て、奈良女子大学・キャリア開発本部の皆さんとこのプログラムのお陰だ。皆さんのご指導により、自分の好きな仕事を見つけることが出来た。

また、初めて外国で子どもを育てる私に、保育園の探し方、申請方法などについても親切に教えてくれた。今振り返ってみると、このプログラムに応募していなかったら、キャリア開発本部の皆さんがいなかったら、私はこの世で自分の道をまだ見つけていなかっただろうし、子育てと仕事が両立できる、充実した幸せな生活も送れていなかっただろう。今、本当に感謝の気持ちでいっぱいです！

自己分析セミナーに通っていた時に、ならっこネットという奈良女子大学の保育制度を何回も使った。これは人間性が溢れている、新米ママにも、赤ちゃんにも非常に優しい制度だと強く感じた。

応募することに迷っている媽媽達は、ぜひ、迷わずに応募してください！

## 【県立機関（森林技術）】

### ◆学んだこと

センターに関わりのある、さまざまな業種の方々をご紹介いただき、地方で活動する上での資金調達や、人的支援をどのように得るかなど、かなり具体的な内容まで学ぶことができました。

また、和紙関連の活動では、センター内の技術職員の皆さんに親身なアドバイスいただいています。身近に樹木や昆虫、細菌の専門家がおられる環境での活動は学びが多く、適切な指導をいただけることを非常にありがたく思っています。試験したいことがあれば、多くの関係機関をご紹介いただける環境であることも、本当に恵まれています。

ここでのご縁は、今後、私が地域で活動していくうえで大きな意味があり、活動終了後も関係を続けていくことができれば、と考えています。

### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

理系研究職や分析業務に係る就職先は、大手研究機関の部門が地方にある場合など以外は、都市部で探す、というイメージを持ちます。でも、田舎暮らしを希望したり、結婚や出産、パートナーの転勤、介護など、いろいろな事情で地方に住むことになったとしたら？「働く場所がない。就職先がない」とすぐ答えを出すのではなく、これからは仕事を自分でデザインすることも選択肢の1つだと思います。

博士課程経験者のできることは、研究に携わる以外にもけっこうあります。やってみて、やっぱり研究したいなら、いろいろリンクさせてやれるようにすればいい。それができるのも博士課程経験者の強みです。

まずはこの制度を利用して、自分のできることを知り、可能性の広がりを知ることから始めてみてはどうでしょうか。

## 【株式会社（情報サービス）】

### ◆学んだこと

- 1.お客様センターの歴史・現状及びそのトレンド・改革
- 2.顧客に長期間、利用していただけるような対応、仕組み及びそのノウハウ
  - (1)日頃の顧客との会話から、顧客のニーズをしっかりと把握・理解
  - (2)より一歩進んだサービスを提供できるような思いやりや丁寧な対応
- 3.販売状況・課題の把握、改善
  - (1) 販売データを分析し、課題を把握
  - (2) one more talk を実施することによって、顧客の潜在的なニーズを探り、検討したうえで、最善な対応を行い、さらに顧客をできるだけ満足させるよう、提

案する

- (3) 顧客像をより具体的・鮮明に把握・理解するため、顧客の問合せを受けるオペレーターたちが情報を共有したり、また、顧客への対応を活用したペルソナデザインの取り組みを実施

4.販売促進の施策：それぞれの課題に応じて、商品情報の提供やキャンペーンなどを実施

- (1) 新規の顧客を増やすため、お試しキャンペーン・アウトバウンドを実施
- (2) 定期利用者を増やすため、通常購入者に定期的にお得な情報や役に立つ商品情報を提供
- (3) 定期利用者に継続利用していただけるよう、定期利用者に役に立つ情報を提供、感謝祭キャンペーン・プレゼントを贈呈・誕生日ポイントなどの施策を実施、など

⇒1.より一歩進んだサービスを提供できるような思いやりや丁寧な言葉遣いを適切に用いること

2.迅速に課題を解決するために、現状を把握し、対策を練る、企業の迅速性

3.顧客の利用状況に合わせて、商品情報やキャンペーンを実施することによって、より効率的に課題を改善できること、などをあらためて学びました。

#### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

インターンシップ中は、問合せの電話への対応は直接経験することはできませんでしたが、毎日オペレーターたちと顧客との会話を聞き、耳で勉強しました。そのうち、特に印象に残ったのは、オペレーターが顧客と友達のように会話していたことです。それを聞いて、このお客様センターと顧客との関係は単なるビジネス上の関係にとどまらず、まるで顧客のパートナーのような存在、と感じました。お客様センターに問い合わせるのは、多少抵抗感がありましたが、このようなお客様センターであれば、悪くないと、思いました。とても不思議なお客様センターでした。このように自分自身のイメージがかわったのは、その丁寧・親切な対応のほか、さらに顧客の潜在ニーズを探し出し、顧客に最善な対応を行い、顧客にできるだけ満足していただけることを常に考えて、対応していたからだと思っています。

今回、インターンシップに行った会社は自分の専門と異なりますが、その企業の現場を経験したことで、実際に目・耳などを通して、日本の企業文化・精神・ビジネスマナー・接客の仕組みとその精神などを体感・学習することで、今後の就職にとっても役に立つと思います。今回のインターンシップをサポートしていただいた奈良女子大学、またインターンシップを受け入れてくださって、インターンシップ期間中も様々なサポートしていただいた会社に、本当に感謝しております。今回のインターンシップで出会った人々、またこの経験は、私の人生にとって宝物であり、大事にして生かしていきたいと思っています。

## 【有限会社（映画制作）】

### ◆学んだこと

- ◆映画制作に関連する必要な知識・スキルを身につけました。また、映画制作に関する全体像を学びました。
- ◆各種類の日中英の翻訳作業を通じて、翻訳の能力が高まりました。
- ◆河瀬直美監督の作品を鑑賞し、インタビュー、コラム執筆、メディア掲載などの情報収集を通して、監督の人生観、作品の意図、撮影特徴など深く理解できました。
- ◆映画制作の契約書のなかで規定された、著作権/配給権の規定、撮影内容、守秘条項、双方の責任など、大変勉強になりました。
- ◆会社内部と外部の良好な人間関係を築くことを学びました。

### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

今回のインターンシップを通して新鮮な領域に触れ、視野を広げました。インターンシップの5ヶ月間だけでなく、事前の自己分析、ワークショップ、講座の受講、コーディネーターとの定期的な相談により自分が何をやりたいか、自分のできることは何かなどを再認識しました。また、幅広い専門の方と知り合い、考え方も変わりました。

1人で頑張るより、女性博士のみなさんと交流し、意見交換ができて、お互いに支えながら一步一步前に進んできました。私は先輩の紹介で奈良女子大学の長期インターンシップに参加し、また友達に紹介しました。私はここで自分の達成したいこと、学びたいことができ、本当に良かったです。

## 【株式会社（再生医療）】

### ◆学んだこと

iPS細胞が創薬や難病の治療に応用される成果が次々と挙げられる中、高品質のiPS細胞を安定的に提供できる事業が必要とされている。iPS細胞やiPS細胞由来の分化細胞をいかに要望通りに随時提供できるかは、今後の創薬・医療研究現場の最大の課題となる。

顧客に最高の商品とサービスを提供するためにも、同僚同士が気持ち良く働ける職場を作るためにも、チームワークが何より大事であることが分かった。また、商品そのものを提供したら終わりなのではなく、その後のフォローアップもサービスの一環である。

### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

～「働く」とは～

学生は知識を自分の身につけるために勉強する。社会人は顧客により良いサービス



を提供するために勤める。「働く」とは、誰かのニーズに答えるために、自分のチカラを発揮し、自分の付加価値を高めることである。社会に踏み出すのに、勇気も覚悟も慣れるまでの時間も必要かもしれないが、自分のキャリアを豊かに築くことは間違いない。

～博士課程において専門分野を究めた女性ポストドクターの皆さんへ～

キャリアパスの形成時期が結婚・出産・育児期と重なって、様々な事で戸惑ったりする気持ちは良く分かります。しかし、せっかくこれまでに培ったチカラを存分に発揮しないともったいないです！長期インターンシップ・プロジェクトを利用して、本当の自分を見出しながら、新たな世界を広げてみませんか。

2616

## 【株式会社（コンサルティング）】

### ◆学んだこと

【企業における途上国支援の今日的状況】

#### ●途上国案件応札企業の増加

今日、途上国案件を応札する企業が増えており、各社共、いかに案件を受注するかが大きな課題。

- 1) 語学が大前提（TOEIC スコアは 950 点以上）、第 2 外語、多言語習得は「自然」なこと。
- 2) クライアントの多角化・JICA 以外の受注先を独自に開拓する必要性・行動力と多角的視点の重要性

【研究とは異なるビジネスの視点での国際協力】

#### ●問題解決に向けて

- ・ Win-Win に向けてどのように利益を産み出すか
- ・ 様々な問題解決に向けて先を見据え、常に行動し続けるフットワークの軽さとスピードが大切

### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

#### ●研究で培った知見と実務経験をつなぐ経験

「開発途上国の問題」を、実務を通じてみることで、研究とは異なった問題解決へのアプローチを知りえました。このように、インターンシップは新たな知見を得られる場でもあります。また、私がインターンシップで学んだことの一つに、自分の先入観が進歩や可能性を止めているだけだということがあげられます。多様な経験・専門性をもつ様々な年代の方々の業務経験を見聞きするなかでそのことを痛感しました。

大学かそれ以外かという二者選択ではなく、自分がやりたいことをできる場を選ぶことで、いつでもどこでも研究はできると思います。